

平成 19 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	下伊那地区さくら・古木の再生プロジェクト
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 信州伊那谷環境再生研究会 0265-25-3450 渡邊 秀樹
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業、(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	900,000 円 (うち支援金: 800,000 円)

事業内容

周辺住民ならびに県内外の住民に呼びかけ桜の手入れ・古木の手入れ(腐朽部除去、枯枝除去、土壌改良)を行う。海外の樹木の剪定方法、ツリークライミングの道具を使用し日本の林業で今まで行われてきた方法と融合しより安全な樹上作業の確立を全国へ発信する。

さくら・古木の手入れを一般市民の方との作業を行い学びあい地域で育て守る事を目的とする



【笹見平桜土壌改良の様子】

自己評価 (事業実施率) 【100%】

事業効果

古木の手入れ、機械が使用できない場所での作業方法の確立作業の安全性の向上、スキルアップ、作業性の向上が見込まれる

古木・さくらの保全活動への県民・市民・地域の意識を向上させる。地域住民・飯田市民の象徴的さくらの環境保全が図られる契機となる。観光資源としての確立。それに伴う経済効果を期待できる

【目標・ねらい】

- 今後地域で管理する
- 観光資源として地元の宝であることを理解してもらう
- 定点観測
- 看板や案内板の設置
- 肥料・土壌改良の手法の伝授

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

地元で定点観測を行い樹勢の回復に努める、土壌改良の必要性、枯れ枝や不要枝の切除方法を教え今後の管理を行う。病害虫の説明を行い、殺虫剤や殺菌剤を地元で行う。観光客へのアピール:〇〇の桜はどこですか?と尋ねられたら方言を使用し道順を説明し自分が感じている桜に対する思いを伝えることにより桜の美しさや思い出が数段アップされることによって次年度も訪れてもらえるファン作りを行う

他からの桜を手入れしたい希望者が連絡をくれることが多いが、痛んでいる順番に取り組みたい

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。